

きざみずい報

(毎月5日発行)

春井由 笹井由 春井由 笹井由
場役村 崎村役 場役村 崎村役
所印 所印 所印 所印
編者 集者 集者 集者
地域 振興 振興 振興
発行 所 所 所 所
印刷 所 所 所 所

村民の動き

前月	本月
1,112	1,116
2,618	2,625
2,706	2,714
5,324	5,339
数男女計	世人口

道路整備事業

着手する

産業振興の基盤となる道路等の整備には年々多額の投資をしております。

本年度第一回村道及び農道の舗装工事の入札を行いました。この内容は次の通りです。

記

◇農道舗装工事

- その一
- 一、地区名 山寺地区
 - 二、延長 六百六十七米
 - 三、巾員 三・五米
 - 四、請負額 金六百九十万円
 - 五、請負者 白河市中田 共栄工務店 社長 中村朝治
- その二
- 一、地区名 新田地区

- 二、延長 四六六・五米
- 三、巾員 四・〇米
- 四、請負額 金八百十八万円
- 五、請負者 矢吹町岡谷地 伸和建設KK 社長 橋本忠男

◇村道舗装工事

- 一、路線名 根岸
- 二、延長 二百二十米
- 三、巾員 四・〇米
- 四、請負額 金四百五十万円
- 五、請負者 山陽工業株式会社 社長 星 敬二

◇村道側溝改良工事

- 一、路線名 中宿線
- 二、延長 五七・五米
- 三、請負額 金百八十四万円
- 四、請負者 白河市道場小路 株式会社 小野組 社長 小野義美

簡易水道建設工事

請負工事契約決まる

去る八月二十六日役場会議室において簡易水道建設工事の入札を行いました。その概要は次の通りで請負契約が締結されました。

- 一、工場の内容
- (イ) 水源施設 (ポンプ室、敷地造成、取水ポンプ等)
- (ロ) 導水施設 (導水管布設一・三八七米)
- (ハ) 配水施設 (新田ノ行方地線一・一六六米) (桧内線五六一米)

- 二、工事請負額 金貳千八百六拾万円

三、工期

- 自昭和四十九年九月一日 至昭和四十九年十一月三十日

四、工事請負者

- 白河市向新蔵六〇 磐城水道工業株式会社 取締役社長 原 キク

この工事は大字関和久字豊内内に新たにボーリング工事を施行(二〇〇米の深さ)し二千以上上の取水可能が確実となりましたので、この水を現在の愛宕町の水源地まで導水し供給の増強を図るべく施行するのが今回の主な工事の内容である。

道路環境整備

労力奉仕ご苦労さま

最近の道路利用による交通量は激増して参りました。

これに対応すべく国も県も村も全力をあげて道路の整備に努めておりますが、まだまだ不十分でありますので整備拡充に努力を続けて参る所存でありますので御協力をお願いします。

また他面道路及び河川敷の環境は甚だ遺憾の点が多く見受けられます。お互に環境の美化に努めます。



(写真は八月十日の雑草刈払い奉仕作業状況の一部)

林道整備事業工 事請負決まる

去る七月二十九日役場会議室において峠線林道工事の入札を行いました。その内容は次の通りでありますのでお知らせします。

- 一、路線名 峠線
- 二、延長 二百七十米
- 三、巾員 四米
- 四、工期 自昭和四十九年八月 至昭和四十九年十二月
- 五、請負額 金壹千四百万円
- 六、請負者 白河市三本松山 株式会社鈴木建設 社長 鈴木喜代蔵

△郷土編集資料室だより▽

江戸相撲

雷峯右衛門の話

峰右衛門は、天明年泉崎村外ノ入の穂積倉右衛門の弟として生れた。峰右衛門は幼ない頃から体格も良く力量も勝れていた。或時、中野目某家に於て摺臼をしておった、その家の主人が峰右衛門に、此の米俵を持てるなら呉れてやると言う、峰右衛門は高下駄履きのまま此の米俵（当時は四斗五升入り）を持ち坂道を我家に持ち帰ったと言う、これは峰右衛門まだ十代の子供の時と言う。当時若者が力試しとてどの部落にも部落には力石があった、外ノ入の力石は丸い石で参拾余貫あり、大人は持ちあげ肩に担ぐ者がなかった、峰右衛門は悠々この石を担いだと言う力持ちには部落民呆然としたと言いい伝えられている。

その後宿の星家の養子となる、角力を好む峰右衛門は江戸に出て

◎火災予防に

御協力下さい

白河消防署矢吹分署

自治省発表によると本年上半期（一月～六月まで）の全国火災発生状況は四万三千九百十四件で昨年同期に比べ二万件（四・八％）増え、戦後最悪の記録となりました。これは六分間に一件の割合で、火災が発生していることになりました。また火災による死者は九百九十七人、前年同期に比べ二十人増で一日に五・五人の割合で焼死者がでています。

矢吹分署管内（矢吹、泉崎）では死者こそでておりませんが火災は八件の発生です。

これから秋の農繁期を迎え何かと多忙になりますが、火災予防の為に御協力下さい。

『火災から命を守る』

五つの心がけ

一、体の不自由な人や老人子供などをひとり残して外出しない。

名を成そうとするが養家先では之れを悦ばない。泣いて止める妻を離別し江戸に出る。雷権太夫の門に入る。

当時のシコ名を泉崎権助と名乗る、享和二年音羽山と改名し文化元年（一八〇四）三月に入幕を果たした。

文化五年二月場所の四日目に彼は、当時の天下無敵の称ある大関雷電為右衛門と対戦し見事土をつけた勝星をあげ一躍名力士として名を挙げた。江戸市中にはカワラ版が売られ、泉崎の生家には飛脚が飛ぶという人気をさらった。

「雷電は雲の上かと思ひども、音羽の山の下でゴロゴロ」と巷間にうたいはやされた、雷電も相当残念だったのだらう。

「今年負けても、（雷電）来年は」と音羽山を睨みつけたと言う。

その後東北巡業の時、泉崎十軒前原（現在産業道路となる）で土俵をつくり興業を行なった。その土俵のあとと近代の波に消え失せた。

文化九年に師名を継ぎ、雷峰右衛門と改名した。

二、寝たばこは、絶対にしない。

三、火災になったら着替えなどにこたわらずそのまま逃げる。

四、煙の中を逃げるときは姿勢をひくくし、ぬれ手ぬぐいなどで口をおおう。

五、いったん逃げたら物をとりにもどらない。もし逃げおくれがあったら、消防隊に早く知らせる。

『火災や救急の通報について』

普通電話 一一九 をダイヤル
農集電話 〇一一九 して、火災有線電話 一一九 か救急かをつげ、つぎに場所、目標、何が燃えているか（救急は怪我の程度や人数状況）などを通報する。

秋の全国交通安全運動に

御協力下さい

九月二十一日（土）から九月三十日（月）までの十日間秋の全国交通安全運動がいつせいに実施されます。

今回は特に歩行者、自転車利用

文化十一年（一八一四）四月場所を最後に最高位前頭三枚目の幕内生活を引退した。引退後は又もとの音羽山となり年寄りとなり角界に貢献した、音羽山の年寄り名は今なお若の花一門により栄えている。

彼は文政三年（一八二一）五月二十日、江戸に於て此の世を去った。教学院真阿雷峰居士と諡せられ東京都豊島区高田南町の南蔵院に葬られた。

その後外ノ入穂積勇家に位牌が贈られ、泉崎昌建寺に於て供養葬が行なわれた、昌建寺には当時の山位牌が保存されている。碑を踏瀬四つ屋に造る、その後泉崎十八夜山に移す、高さ一尺の台石三重ね碑の高さ三尺五寸、表面に教学院真阿雷峰居士、脇に文政三辰年五月二十日とある。

巡業等で此の碑の前を通行する角界の人々は箆を下り、下馬して礼拝したと語りつがれている。

泉崎村史編集室 遠藤輝之助



者の事故防止、特にこども（幼児及び小学校児童）と老人を交通事故から守ることを重点目標としております。そこで交通安全運動そのものがマンネリ化をしている傾向が見受けられますので、もう一度反省して点検することが大切ではなからうかと考えます。

特に家庭における交通安全についての注意、話し合いでかける前に交通安全について一声をかけることなど……

一人一人が、お互いお互いが交通ルールを守って正しい運転をしてこそ、明るい社会が生れて来ると思っています。

来る九月二十日からの秋の全国交通安全運動に、家庭、地域、全村あげて御協力下さいますようお願いいたします。



教育機関コーナー

今月号から、この項は教育関係のコーナーとして設けましたから御利用と御指導を願います。

☆

踏瀬観音山磨崖供養塔

県指定の重要文化財となる

五百羅漢といわれる踏瀬の磨崖仏は縦貫道路の建設の為に一部破壊されたことは遺憾であるが、今年度から福島県の重要文化財として指定された。わが村には国の重要文化財として指定されている泉崎横穴もあり、村の宝として大切に保護しなければならぬ。

敬老会は九月十五日

ことしの敬老会は九月十五日、泉崎中学校体育館で行われる。

招待を受ける「おとしより」は三百三十八人、記念品を贈り、全村を挙げて演芸会を催し長寿をお祝する。

なお当日はマイクロバスでお迎えし終了後はお送りするので、各部落とも指定の場所に、定刻までに集っていただく。

〈中校学紹介〉

中学校の概要をご紹介します。

生徒教男女共に一七五で計三五〇名、学級数十一、職員数十九名で職員・生徒一丸となって学力、体力、気力の向上にはげんでおります。

・学校体育研究指定

昭和四八、四九の二か年にわたって本校は県教育委員会から学校体育の研究指定を受けて、毎日の学校教育の中でその研究を進め実践をつみ重ねております。来る十月二十九日その成果を県内を対象として発表することになりました。

・第二学期は好シーズン

勉強、スポーツの好季節を迎えて学校では各種テストや球技大会、文化祭など多彩な行事が予定されその成果を期待しております。

・ヘルメットの愛用

自転車通学生全員に、村当局からヘルメットを購入していただき、安全運転の励行と危険防止のために大いに役立っております。



(写真は中学校生徒の)

(ヘルメット登下校の姿)

泉崎第一小学校

創立百周年記念式典迫る

泉一小創立百周年記念祝賀式はきたる九月八日(日)午前十時三十分より実施の運びとなりました。

事業推進の中核としてその任にあたられた実行委員の方々、多忙にもかかわらず奉仕作業に参加してくださった方々、予算その他援助を惜しまなかった村当局、関係諸団体の方々、校挙にいとまないこれらの方々の物心両面にわたるご協力に深く感謝するとともに、喜びを分かちたいと思います。案内状は既に発送してありますが、ひとりでも多くの方々のご参加をいただき、泉崎一小のこれまでの業績を偲ぶとともに、今後の発展を希求したいものと念願しております。

◇スポーツの秋二題

泉崎第二小学校

◇秋季大運動会近づく

一、とき 九月八日(日)

二、異色種目紹介

・全保護者がわが子とともに団体競技に参加する種目が、年々

趣向をこらして五年目を迎える。本校が意図する地域総ぐるみの教育のひとつであるが、ご父兄の真剣な演技にむくいるため、本年度は紅白の団体得点に計上することにしました。

「関平新幹線」(4年)、「それ一大事!!」(1年)、「お月見さま」(3年)、「環境整美」(6年)——これらは昨年度の種目であるが、今年は、何ごとび出すか。

・敬老宝ひろい

幼き児らの乱舞に、幼き日々をなつかしみつつ、おらが郷土の学校に集い寄るお年寄りの数が年々増加しているものたのもしいつりである。

高令の方々には、必ずしもクラウンドを走らなくても、今年、一年生が敬老の宝をとどけてあげようという案も出ている。

七十五才以上のお年寄りに、今年もまた学校長が「あかざの杖」(黄色に塗装された交通安全用)を贈呈する。

◇第5回P.T.A万部対抗球技大会も間近か

各方部の猛練習風景があちこちに見られる頃になってきた。

学校給食センター

建設工事着工する

児童生徒の体位向上と健康増進を図るべく学給食を村内の各校共実施しておりますが、各校の給食施設の老朽化による維持運営に支障が生じて参りました。これが解消を図ると共に近代感覚をとり入れ、より充実した給食施設の拡充を期すべく、各校の給食施設を合併した給食センターを大字泉崎字都橋地内(泉崎村幼稚園隣地)に建設することになり過日入札を頂き次の方が請負されました。

記

一、施設名 泉崎村給食センター

二、建築面積 二九〇㎡

三、請負額 金二千百万円

四、請負者 泉崎村大字泉崎

字新宿

菊地 昭 工務店

近代社会にマッチした警察活動を推進するため泉崎、関平の両駐在を集中して、泉崎駐在所を拠点として二人の警察官が協力しあって、各種の仕事を行ない

昭和四十三年以前から持っていた土地や建物を譲渡した場合や特定の事業用資産を買い換えた場合あるいは居住用資産（店舗用住宅は住宅部分だけ）を譲渡した場合などは、それぞれ特別控除や買換えの特例が適用されますから、詳しいことは最寄りの税務署にお尋ね下さい。

鈴木子之吉 七三

